

我慢強さがなくなってきました。

こんなことを書くと、『授業だけで勝負できない』と言っているように聞こえるかも知れませんが、そうではありません。正確に言えば、『授業だけで勝負しにくくなった』ということです。こういう中で、どう勝負したらよいのだろうと考えるようになったわけです。

以前、担任をしていた子どもの中に、学習全般が苦手で、特に漢字に強い苦手意識をもっている子どもがいました。その子にも何とか勉強のおもしろさを伝えたいと思い、手を変え品を変えしながらやってみましたが、なかなか思うようには進みませんでした。

こっちが全力を尽くしているはずなのに、子どもたちに伝わらない、子どもたちが育っていかないという状況でした。こうなると、「先生は一生懸命やっているのに、どうして分かってくれないの？」と思うようになってしまっていました。教師側の一生懸命さが報われない事態になってしまうわけです。そうなってしまうと負のサイクルが始まり、元も子もありませんね。

このような悩みを多くの先生方からも聞きました。

先に述べたように、プロの教育者である以上、教師は授業で勝負できないといけません。教材研究に全力で取り組み、子どもたちをいかに育てるかということから逃げてはいけなと思います。しかしながら、先に述べたような理由で、授業以外の時間も使いながら子どもたちを育てていかないと、頑張っって創り上げた授業が空回りしてしまうことになってしまうのではないかと考えたわけです。

そこで、私は2つのことに取り組んできました。一つは、授業で扱う单元以外などでいろいろな取組を行い、勉強のおもしろさを感じさせようというものでした。朝学の時間や家庭学習を中心に取り組んできました。もう一つは、生活面を通して子どもたち自らが学級づくりにかかわるようにしながら、何事にも主体的に取り組む姿勢が育つよう努めました。それらの根底に据えていたのは、「遊び心」です。遊び心は意欲を高めます。遊び心はゆとりを生みます。遊び心は持続力を高めます。そんな思いで取り組んだ実践を、次号でいくつか紹介したいと思っています。

2 求められる教師像

山口学級活動ネットワーク 梶田

小学校で新学習指導要領が実施されて2年目になります。今回は、このたびの指導要領が作られる前（平成17年4月）に、中央教育審議会の義務教育特別部会で、求められる教師像という意見が出されたことを紹介します。

その中では、「あるべき教師像」といういくつか意見が出されたそうですが、その中で、特別活動に関わる意見が出されたのです。

まず、「教職にある者が努力すべきポイント」ということで次の5つが述べられています。

- 1 対人的関わり能力の点での成長
- 2 人間として社会人としての成長
- 3 集団指導の専門家としての成長
- 4 教科指導の専門家としての成長
- 5 学び続ける知識人としての成長

その3つ目に「集団指導の専門家としての成長」とあるのです。これは、まさに「個」だけを育てるだけに努力するのではなく、「集団」も同時に育てていけるように成長していかななくてはならないというように述べられたということです。この成長は、集団とかかわることなくしては成長することはないと考えます。

次に、「求められる教師力」ということで、5つが述べられています。

- 1 子ども理解力, 児童・生徒指導力 (発達子ども観, コミュニケーション・スキル)
- 2 学級作りの力 (集団に対する理解力と組織化のスキル)
- 3 学習指導, 授業作りの力 (個と集団に対する「教え」や「学び」の展開力・コーディネート力)
- 4 同僚性の確かさ (支えあい・協働する力)
- 5 人格的資質 (人間性, 市民性—誠実・寛容・明朗・情熱・公平・正義・平等性など)

その2つ目に「学級作りの力 (集団に対する理解力と組織化のスキル)」と述べられているのです。これこそ、まさに特別活動が重視されなければならないということだと言えるのではないのでしょうか。

新学習指導要領が完全実施され、言語活動や基礎基本の定着などのように改訂の目玉だと言われたものが脚光を浴びていますが、それらを指導する教師がどのような成長を遂げなければならないか、についても着目すべきではないでしょうか。

3 メルマガ編集部からのお知らせ

◆山口学級活動ネットワーク メールマガジンの登録について◆◇◆

現在の購読者は280名弱ですこれまで以上に内容を充実させていく必要を感じています。もっともっとメルマガ仲間が増えるといいなと思っています。

お知り合いの方にこのメルマガを紹介してください。登録については、山口学級活動ネットワークのホームページをご参照ください。

url: <http://www.yamakoshu.org/gakkatu-net/>

◆メールリスト「学級づくり夢工房」◆◇◆

ネットワークでは、メールリスト「学級づくり夢工房」を行っています。これは、メールを使って学級づくりに関する情報を気軽に交換し、皆さんがお持ちの実践を共有化しようというものです。

方法は簡単！ 下記アドレスまで「メールリスト希望」と書かれて送信してください。こちらで登録を行います。

ともに夢を追いかけましょう！

sugi-net@jewel.ocn.ne.jp

◆実践投稿のお願い◆◇◆

読者のみなさん、みなさんが取り組まれている情報を送ってください。学級づくりの実践を広げ、共有していきましょう。

どんな小さな事でもけっこうです。情報をお待ちしています。

=====

山口学級活動ネットワーク メールマガジン

☆ご感想・ご意見は

sugi-net@c-able.ne.jp または sugi-net@jewel.ocn.ne.jp まで

☆編集・発行 山口学級活動ネットワーク メールマガジン編集部

梶田崇晴（岩国市立小瀬小）

津村元文（美祢市立伊佐小）

吉田哲朗（萩市立椿西小）

西田智行（下関市立垢田小）

福永博一（萩市立椿西小）

=====